

ビントレーの アラジン

2011.5/2 ~ 8

レパートリー
Repertory

Bintley's Aladdin

オペラパレス | 7回公演

演出・振付: D. ビントレー

Choreography : D. Bintley

作曲: C. デイヴィス

Music : C. Davis

舞台装置: D. バード

Scenery : D. Bird

衣裳: S. ブレイン

Costumes : S. Blane

照明: M. ジョナサン

Lighting : M. Jonathan

指揮: P. マーフィー

Conductor : P. Murphy

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra : Tokyo Philharmonic Orchestra

新国立劇場で生まれた 夢と冒険のファンタジーバレエ

2008年にビントレー舞踊芸術参与が新国立劇場のために振り付けた傑作『アラジン』が再演されます。

演出・振付の妙味に加えて、カール・デイヴィスの親しみやすい音楽、空飛ぶじゅうたんやランプの精の登場シーンなど夢いっぱいの演出も大好評で再演の要望が高かった作品です。初演に若干手を入れた形で上演されます。

大人から子供まで全ての世代の方々にご覧いただける公演であるばかりでなく、バレエが初めての方にも、よくバレエをご存知のお客様にもお楽しみいただけるエンターテインメント性と芸術性が見事に調和した稀有な作品です。

ものがたり

母親と暮らすアラジンは、仕事もせずにはらばらしている怠け者の少年だった。ある日、アラジンが不思議なランプを手にしたところから物語が始まる。そして、ランプの精と一緒にモロッコの姫を助け出す冒険の旅に出たアラジンは、困難を乗り越えながら大きく成長していく……。

